

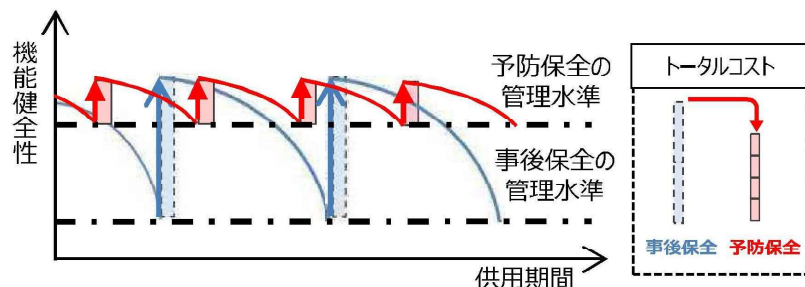
道路施設のストック効果の維持

～道路施設の老朽化対策の推進～

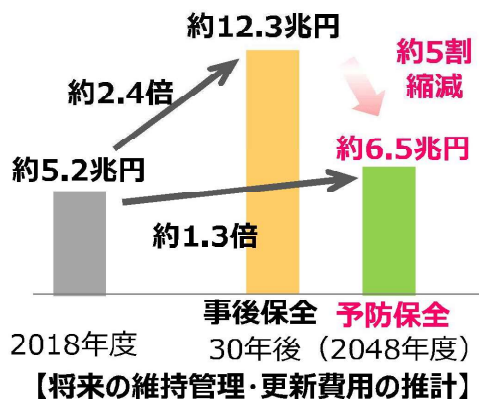
- 道路施設のストック効果を最大限発揮させるためには、計画的かつ効率的な維持管理を実施し、施設を良好な状態に保つことが不可欠。
- ライフサイクルコストの低減や持続可能な維持管理を実現する「予防保全によるメンテナンスへの転換」が重要。

「予防保全」への本格転換

○インフラの機能に支障が生じる前に対策を行う「予防保全」により、増加が見込まれる将来の維持管理・更新費用の縮減が可能。



【事後保全と予防保全のメンテナンスサイクル】



○一方で、早急に修繕等の対策が必要な施設が多数存在。これらに対して集中的な対策を実施し、インフラ機能の早期回復を図るとともに、「予防保全」に基づくインフラメンテナンスを実現



※早急に修繕等の対策が必要な橋梁・トンネル(鹿児島県管理)
【H26～H30の点検・診断結果による】

施設	管理施設数	早急に対策が必要な施設	
		施設数	割合
橋梁	2,478橋	242橋	10%
トンネル	99本	59本	60%

出典: R2.9.4 第13回道路技術小委員会資料(国土交通省)